

ジュゴン Vol.58

ちゃんぷるニュース



2011. 9. 20

～パシフィック・ジュゴン年～

CONTENTS



- 2 普天間オスプレイ配備計画
- 沖縄と同じ境遇の島 チェジュ
- 3 フィリピン訪問記④
- 4/5 活動報告
- 6/7 報告・国際学会「占領下における対話」
- コラム・「大浦湾はジュゴンの里」
- 8 お知らせ

2012年9月はIUCN 第5回世界自然保護会議が韓国の済州（チェジュ）島であります！4年に1度オリンピックと同じ年に開かれて、あらゆる自然保護への取り組みにかかわる重要な会議です。

IUCN済州島会議まであと1年！

来年のチェジュ島での会議はSDCCとして重要な位置づけをしています。世界のIUCNメンバーにジュゴンのおかれている環境を広く知ってもらうために活動する予定です。ワークショップ、ノレッジカフェ（テーブルを囲んでジュゴンについて意見を出し合うミーティング的な話し合いの場）やポスター展示をします。もちろんブース出展し、ここでは個別に広く世界の人々にアピールします。もちろん署名も集めますよ。今回は同じアジアという場所でもあるので近隣の国々とも密に連携が取れればと思います。またジュゴンはアジアを中心とした国々にまたがる海に生息しています。それらの地域の人々とも活発な意見交換ができることでしょう。

また私たちSDCCはいつもにぎやかにさらに楽しくがモットーですが、これはIUCNという場でも同じです。沖縄の紅型をまとい、ジュゴン着ぐるみで楽しく盛り上げていきます。

IUCNまでちょうど1年！この1年でたくさんの人たちにIUCNの存在を知ってもらい、なんらかの形で参加でき、またアピールできるものと考え「ジュゴン♡フラッグ」を集めてIUCNの場でお披露目しようと思います。ただのフラッグではありませんよ。ハートマークがついた「愛」のあるフラッグにしたいです。是非、ご参加くださいね！
（関西 上田千鶴）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



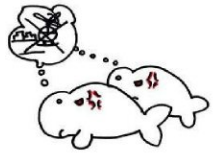
神戸のSAORIギャラリーにて写真展とマスコット作り教室を行いました（5面）



9/11の脱原発全国アクションにて、1000人以上の参加で経産省を囲む人間の鎖（6面）

情勢

普天間基地へのオスプレイ配備ではなく、 基地の即時閉鎖を



野田佳彦民主党新代表が8月30日に首相に選出されました。しかし、菅政権の方針「日米合意をふまえて、辺野古移設を実行する」ことを明らかにしています。2011年版防衛白書（8月2日）でも「海兵隊の機能を損なうから、普天間基地の県内移設とせざるをえない」としています。普天間基地の即時閉鎖・撤去、辺野古移設に反対する全国的な運動で止める以外にありません。14年間の闘いでも明らかのように、それは十分可能です。

このような中で6月6日、米国防総省は来秋に垂直離着陸輸送機 MV22 オスプレイを普天間飛行場に配備することを明らかにしました。開発段階から事故が相次ぐ危険なオスプレイ（91年～00年に30人が死亡）の配備に反対する沖縄県民の怒りに押されたものです。外務省は「正式な通知がない」との理由で、これまでオスプレイの騒音被害の実態や危険性の説明を米国政府に求めてきませんでした。7月14日、沖縄県議会は6月定例会で「普天間飛行場へのオスプレイ配備計画に反対する抗議決議」を満場一致で採択し

ました。外務省は県議団の抗議に「オスプレイを受け入れるか、排除するか、日本政府全体として決定したことはない」と弁解しています。

米海兵隊は毎日新聞の取材に「普天間基地にオスプレイを配備するため、周辺環境への影響（騒音、環境衛生上の安全性、生物・文化資源などへの影響）を調べる『環境審査』に着手し、来年3月までに審査報告書をまとめる」ことを明らかにしました。米国内では義務付けられている環境影響評価を、国外にも適用することを明らかにしたのです。県議会決議など沖縄県民の怒りが米国を動かしているのです。

防衛省は今年12月までに沖縄県に辺野古移設のための環境影響評価の評価書提出を行い、来年6月には公有水面の埋め立て許可の申請を行うと報道されています（琉球新報9月5日）。来年9月のIUCNにむけて、「基地ではなく、ジュゴン保護区」の正念場の闘いをともに頑張りましょう。（事務局 蛭川義章）

コラム

沖縄と同じ境遇の島、チェジュ



来年9月、ハルラサンで有名な韓国済州(チェジュ)島で、国際自然保護連合(IUCN)第5回世界自然保護会議が開催されます。今、チェジュ島カンジョン村では海軍基地工事が強行され、反対する住民が弾圧されています。8月24日、カンジョン村の会長など5人が連行され、工事が再開されました。カンジョン近海には天然記念物のサンゴ群落や絶滅危惧

種のカニやカエルが生息しています。ユネスコも生物圏保全地域に指定しています。沖縄島の辺野古と同じ状況です。カンジョン村から支援を求めて来日しています。

チェジュは日本の植民地支配後、米ソ中による朝鮮半島の南北分断支配の影響を受けました。1948年4月3日に南朝鮮単独選挙に反対する住民が米国の介入と右派青年団に対抗して武力蜂起をしました。その結果、朝鮮戦争をはさんで8万人の住民が虐殺されたといわれています。2003年、ノム・ヒョン大統領がチェジュ島民に謝罪し、その後、事件の真相究明が進められています。日本軍に集団自決を強要された沖縄とよく似ています。

(事務局 蛭川義章)

*ハルラサン(漢拏山)…チェジュ島にある韓国最高峰(1950m)。世界遺産に登録されている。



あみちゃんのフィリピン訪問記 ~その4~



あみことSDCCスタッフの正阿彌崇子は3月2日~8日にフィリピンを訪れ、地域主体のジュゴン保護区であるクリティカルハビタット予定地(ヒナトゥアン市)を視察してきました。

今号では、フィリピンの海洋保護に関するNGOと市と国の3者協定について書きます。

皆さんも「協働」という言葉を聞いたことがありますか。日本でも2000年に入ってから、NGOや行政、企業といった違うセクターが同じ目標に向かって、それぞれを強みを出し合い、社会課題に取り組む「協働」がすすめられています。フィリピンでもこの「協働」が政府によってすすめられ、海洋保護において、NGOのCERD・ヒナトゥアン市・国(環境資源省)が2000年の初めに3者協定書を交わしました。

しかしながら、協定を結んだ翌年に、ジュゴンが数匹死亡しているのが目撃されました。この事件に3者はショックを受け、ジュゴンやウミガメの保護のため、海の状態や住民の意識を知ろうと海洋調査とコミュニティ調査が始まりました。この調査には国からの予算がつかず、経済的には厳しいものでしたが、国が研究者を送り、ヒナトゥアン市が船や宿泊所を研究者に提供し、NGOがコミュニティの情報を提供するという、互いの強みを出し合うことでなんとか調査を終え、クリティカル・ハビタット構想の土台を作るに至ったそうです。

私の視察時も環境資源省の職員の方がコーディネートしてくださり、市長や市の職員、NGOの方もお話を聞かせ

てくれました。共に調査をした経緯により、信頼関係が構築され、お互いを認め合う雰囲気が出てきたのだと感じました。

ジュゴン保護区を考える際、日本でも市などとパートナーシップを組むことができれば、もちろん、いい部分と悪い部分がありますが、私たちも活動の中で、参考にさせてもらえる部分ではないでしょうか。

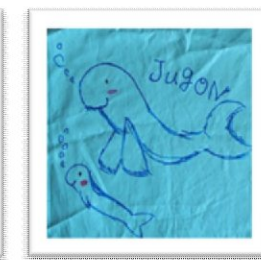
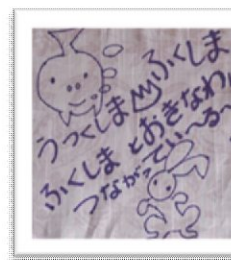
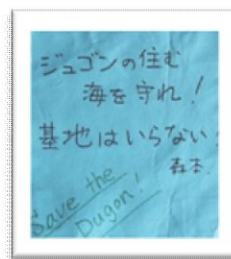
次号はいよいよ最終回。実はクリティカルハビタットに動きがあったと聞き、9月29日から再びフィリピンに行くことになりました。次号では、フィリピンの最新情報も交え、クリティカルハビタットから、SDCCが学べることを書こうと思います。

(関西 正阿彌(しょうあみ)崇子)



左から環境資源局の職員(二人)、あみ、市長、市の職員(二人)、NGOの職員。みんなで楽しくジュゴンについて話しました。

ジュゴン♡フラッグ * ギャラリー



9/10『放射能からいのちを守る集い』(西宮)で、参加者の皆さんに書いていただいたフラッグ。どれもステキ♡です。

🐬 じゅごんの里ツアー報告会in大阪 🐬

7月16日、中之島公会堂会議室で、今年の「じゅごんの里ツアー」の報告会をしました。

今年のツアーでは、名護市の親川副市長、そして新たにできた環境対策課の職員の皆さんと交流できたのが大きいことでした。また台風のため、中止となりましたが、「わんさか大浦パーク」を拠点にした、カヌーツアーを地元の青年中心に準備していたこと、大宜味村のつばきの会の皆さんとの出会いも忘れられません。

報告会では、こうした点を、映像をまじえて報告しました。数年前にツアーに参加したことのある方もおられました。地元住民とのつながりが、深まっていることに、感心しておられました。余談ですが、先日SDCCの事務所に名護市環境対策課から封書が届きました。中には環境対策課で集めたジュゴン保護署名が6筆。「取扱い団体 環境対策課」と明記してあります。ツアーを通じ名護現地とのつながりが、深くなってきたのを改めて感じました。

(関西 松島洋介)



スタッフ全員で、報告をしました

今年のツアー参加者からも、感想・意見がありました。



7月30日～31日に東京・大田区を中心に開催された第41回平和と民主主義をめざす全国交歓会(全交)に参加。ブースで署名集め・ジュゴングッズ販売をするとともに、2日目には討議交流会を開催しました。

基地ではなくジュゴン保護区を

～名護市民とともに基地建設中止・保護区を～をテーマに7月31日に討議交流会を行いました。前半は名護市との連帯感が深まった今年のじゅごんの里ツアーの報告、後半は来年9月に迫った「IUCN(世界自然保護連合)会議 in チェジュ島(韓国)」に向け、これから1年をどう取り組んでいくべきか?!を参加者とともに考えました。

次回のIUCNのテーマは「ネイチャープラス・自然力を高めよう」です。SDCCは過去3回連続で沖縄のジュゴン保護勧告・決議を持ち帰ってきました。しかし日本政府が法的拘束力がないことをいいことに、何の策も打たずにいることが残念でなりません。この12年、何も変わらぬ現状を世界会議の場で問題提起してこようと思います。もちろん、SDCCらしく明るく楽しくをプラス♪ジュゴンちゃんを先頭に歌や踊りを交えてIUCN会場をジュゴン旋風で包み込む計画です。

チェジュ島と親交の深い海勢頭代表を架け橋に、沖縄と同じような悲劇を経験したチェジュ島民と交流がしたいなど提案は尽きませんでした。タイムリミットとなり、各自の宿題として会は終了となりました。さあ皆さんでチェジュへ行こう!!

(首都圏 小平裕美)



7/31 討議交流会



ブースも楽しく♪



エコメッセ2011 in ちば



9月4日(日)幕張メッセ国際会議場で開催された「エコメッセ2011 in ちば」に去年に続き出店しました。「ちば最大の環境活動見本市」ということで、千葉県内の企業や環境保護団体、大学、福祉作業所、農家など様々な団体が参加していました。

会場は、ガールスカウトや小学生グループの子供たちが多く、SDCCのブースもジュゴン折り紙やマスコットも好評で、何回も来てくれた子供もいました。「去年折り方も頂きました」とか「アースデイでもらいました」など、うれしい言葉もかけていただきました。

意識の高い人が多いようで、署名も快くしていただき、基地問題などに話し込んでいく人も多くおりました。今年は着ぐるみが何体もあり、隣のブースの佐渡市は、朱鷺(トキ)の着ぐるみでPRしており、千葉は、横から見て千葉県の地図の形の「チーバくん」と「ちば犬」が出ていました。ジュゴン着ぐるみがあれば更に良かったなあ~と思いました。

(首都圏 矢敷克子)



写真展『ジュゴン(人魚)の棲む海~沖縄からのメッセージ~』 SAORIとのコラボ、素敵な写真展になりました!



8/18~28の10日間、手織適塾SAORI 神戸ギャラリーで写真展を開催しました。牧志治さんの写真は美しく、観て下さった方々を癒したことでしょうか。愛嬌あるジュゴンの写真やグッズはのんびり気分を広げたことでしょうか。楽しい写真展になりました。

好みの糸を選び、できあがりイメージしてパタパタと布を織るゆったりした時間が好きでした。できあがった布は少し誇らしく、自分の手で物を作るというシンプルな喜びを感じていたように思います。手作業は時間がかかるけれど、余計なエネルギーは使いません。自分の労働力だけ。ゆったりした時間、シンプルな暮らしを思い出していきたいと今回の写真展であらためて感じました。



同時開催のマスコット教室は、小学生の兄妹の参加があり、二人ともかわいく作ってくれました。SAORIを取り入れている作業所のスタッフの方、特別支援学級の先生も参加してくれ、何かにつなげていきたいと話してくれました。生徒さんと作ってくれると嬉しいな。ジュゴンマスコットは平和のお守り、癒し効果抜群!広がっていくといいな。

お話し会は少人数でしたが、シークワーサージュースを飲みながら交流できました。「基地は止められないと思っていたけど、お話を聞いて止められる!と希望をもらいました」と嬉しい感想がありました。

※SAORIとは、なにもかも自由にした手織りで、全国各地に手織り教室があります。障害者支援や国際支援などにも取り組まれています。(関西 池側恵美子)

報告

国際学会

‘占領下における対話’ (DUO) 第5回大会

去る8月6日～8日、国際学会「占領下における対話」の第5回大会が、沖縄国際大学と沖縄キリスト教学院大学で開催されました。世界の様々な「占領」の状況について議論を行ってきた同学会。今回は開催地沖縄の状況を反映し、軍事基地と「占領」の関係を扱った発表が目立ちました。その中で印象に残った報告を2つ紹介します。

まず一つは、来年のIUCN会議の開催地、濟州島からの報告です。濟州島はIUCNの評価を受け、2007年にUNESCOの世界自然遺産に登録されました。しかし現在、韓国海軍の基地建設（米軍も使用予定）が南部のカンジョン村で進められており、建設に反対する住民や支援者が逮捕されるなど緊迫した状況が続いています。

韓国政府は、環境に配慮するとしていますが、世界遺産内での軍事基地建設は世界遺産の仕組みに危険な前例を作りかねません。琉球諸島を世界遺産にという動きにも、大きな影響を与える可能性があります。

また「この問題に関する環境団体からの声やアクションが足りない」との指摘は、IUCNのメンバーでもあり、同様な問題に取り組んできたSDCCの対応について考えさせられる指摘です。

二つ目は、辺野古での新基地建設と密接に関係するグアムの基地建設についての報告です。グアムの基地建設は、「環境アセス」を通して、社会基盤と環境への負担が大きいこ

とが指摘され、また米国議会では財政面から建設計画の妥当性が再議論されています

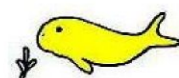
また建設予定地にはグアム先住民（チャムロ）の埋葬地があり、チャムロの人々は、米国の環境アセス法と国家歴史保護法に基づいて米国防総省を訴えています。米国の法律では裁判中の工事は許されておらず、現在工事は着工されていません。

辺野古の新基地建設の環境影響評価書の提出により、米国での「ジュゴン訴訟」も動きだしますが、グアムでの環境アセスや訴訟の展開は重要な参考になるはずで

最後に、同学会の夕食の席で、SDCC代表の海勢頭豊さんが「月桃の花」と「喜瀬武原」を演奏し、来年の濟州島におけるIUCNの会議で「環境と平和の大切さを訴える」と力強く約束したことを報告しておきます。IUCN会議に向かって頑張っていきましょう！（沖縄 吉川秀樹）



夕食会で歌を披露する海勢頭代表ら



再稼働反対・脱原発全国アクション・経産省前行動に参加しました

9月11日（日）に行われた脱原発行動に参加しました。明治公園のBe-inでは、ブースで署名とカンパを訴えました。あいにくエネルギーシフトの皆さんのパレードの到着前だったので、署名はあまり取れませんでした。

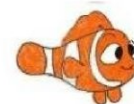
続いて、経済産業省前で行われた「人間の鎖」行動に参加しました。日曜日の官庁街でしたが、プラカード・バナー・着ぐるみなど多彩なデコレーションでにぎやかな行動となりました。

経産省前を包囲した「人間の鎖」は、手を繋いだりウェブを起こしたりと大いにアピールしました。何人が参加したのか？想像もつかないほど多くの人の手で包囲しました。

行動の発言では、「原発労働者の被ばくなくして原発は成



り立たない。こんな労働を許してはいけない」「非正規労働と原発をなくして子どもたちに未来のある社会を作ろう」などアピールされていました。そして若者達が経産省前でハンガーストライキに突入し、原発停止廃止の行動は大いに盛り上がりました。（首都圏 三村昭彦）



大浦湾はジュゴンの里 - ~ころむ・コラム~

民主党は反自公の国民から選ばれた政権であるにも関わらず、今や大変身をして、自民党の力を借りても、普天間基地の辺野古移設を進めると意気込んでいる。

そして防衛省は陸上自衛隊を与那国へ配備しようとしている。だがそれでいいのだろうか？今年にはニューヨークの9.11 同時多発テロ事件から10周年の年である。あれ以降すっかり国力を低下させた米国の言いなりになって、日本政府は心中するつもりなのか？

国民の意思を無視して憲法9条改悪を狙った自民党を阻止したつもりで民主党政権を選んだのに、それも引き継いで、益々危険な状態になってきた。

尖閣諸島中国漁船追突事件の真相も、実はまだ解明されていない。あの中国漁船には、全く価値のない魚だけが積まれていたとのことである。また北朝鮮が犯人だとされる哨戒艦事件も、真相は闇の中だ。勿論9.11事件の真相もまだ解明されていない。

それなのに、八重山地区では中学校教科書採択問題が仕掛けられ、濟州島では韓国海軍基地建設が強行され

てきている。これを分かりやすく言えば、米日韓の軍産複合体同盟の暴力的営業行為が、なりふり構わず顕著になっているということだろう。

しかし少なくとも日本国民は、そんな政府を選んだ覚えはないのである。

私は以前から、巴という字はジュゴンを表したものだと言ってきた。そしてさらに、邑と言う字は竜宮神ジュゴンに守られている村の意味があると言ってきた。日本では邑を「おおむら」又は「むら」と呼んでいる。しかしこの字をソウルや濟州島で何と読むのか聞いてみたら「ウプ」とのことであった。

驚いたことに久高島の龍宮祭に関する言葉にこの「ウプ」が使われている。沖縄ではウプをウフと発音するが、そうするとウフムラと言っている大村や、ウフラと発音する大浦は、邑村、邑浦と本来は呼ばれるべきで、大浦湾はジュゴンの村ということになる。このことを日本国民に知らすべきと思う。

海勢頭豊 (うみせど ゆたか : SDCC 共同代表)

~街のジュゴンサポーター~
BAR のこされ島

BAR のこされ島さんでは、お店にジュゴングッズを置いてもらったり、様々なイベントにも参加させていただいています。雰囲気もメニューも good!ですよ。一度お立ち寄り。

アクセス 通天閣真下のすし ROKU 鮮 2F
HP <http://www.nocoto.com/>

のこされ島は、宮崎駿初監督作品『未来少年コナン』の第一話。

BAR のこされ島は、おじいとコナンのロケット小屋さながらに、もったりひろったりしたもので、すべて手作り。新世界・通天閣のふもとにぽっかり浮かんだ、つりぼりのある天空の楽園です。

物語の中にこんな一節があります。『~核兵器をはるかに超える超磁力兵器の使用により大地殻変動におそわれ、地球はほとんど海に沈んだ。20年後、のこされ島に銃を手に乗り込んできた戦闘員モンズリーに、生き残った科学者の



三線教室もあります。楽しく練習した後にハイ・ポーズ！

おじいはいいました。「おまえたちはまだ こんなことをやっているのか！銃などを振り回しおって！あの大変動になにも学ばなかったのだな」「なにをいうの！戦争を引き起こしたのは あの時大人だった あんたたちじゃないの！」戦争中幼い子供で、生き残るために戦闘員になったモンズリーの言葉を胸に、見て見ぬふりをされがちな、基地や原発のことを伝えていきたいと思います。

のこされ島 のこ(井口裕子)

送ってね



IUCN☆チェジュ・キャンペーン
ジュゴン♡フラッグ
 ～世界の声でジュゴンを守ろう!～

来年のIUCN・チェジュ会議に向けて、キャンペーンを開始しました。会議にやって来る世界の人に、ジュゴンの海の豊かさと、それを守りたい気持ちを伝えたい! 今後、街頭で、イベントで、どんどんフラッグを集めていきます。できるだけたくさんのフラッグを集めて、チェジュに持っていきたくないので、皆さまからもフラッグを募集します。チェジュでジュゴン旋風を巻き起こそう!

- *20×20cmの布に油性マジックでメッセージやイラストを書いてください。布は端切れなど、なんでもOK。メッセージのみ、イラストのみでも大歓迎。
- *送り先は、下記SDCC事務所(東京、大阪)



たくさん送ってね。待ってま〜す!

大阪

※毎月15日はジュゴンの日※

10月15日も、もちろんジュゴンの日!

この日に合わせて、ジュゴンのことを一緒に考えて行動しませんか?

にぎやかに楽しく大阪環状線を巡りましょう!

大阪・京橋・天王寺の各駅前でにぎやかにアピール、
 駅構内・電車の中はサイレントアピールとなります。
 詳しくはチラシ(関西地区同封)をご覧ください。

ジュゴンでトレイン
 始まるよ〜!



10月15日(土)
 13時
 大阪駅前陸橋上集合

署名

署名数 約8000筆(9/13現在)
 (累計 約5万3千300筆)

震災後の情勢により、延期していました署名提出、政府交渉を11月24日(予定)にすることになりました。野田内閣は、辺野古への移設を早急に進めようとしています。できるだけたくさんの署名を提出したいと思います。

署名締切日は10月末日です。

皆さまのご協力、よろしくお願いいたします。

Editor's Note

震災・原発事故から半年。厳しい状況が続いています。いのちを脅かす基地も原発もいらない。新しい世界を作るため、元気に、できればしなやかに活動していきたいと思います。右の写真は、京都の「9.11パイ原発パレード」に参加した時のもの。(Y)



「基地も原発もいらないよ」

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.58 2011年9月20日発行
 ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
 Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21
 第1千代田ビル301 なかま共同事務所内
 ○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
 (関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
 TEL/FAX 06-6353-0514

